

20期生会が宮古島で開催されました

沖縄県宮古島での20期生会は平成18年の第4回（参加者33名+地元つくばね会10名の43名）と今年令和7年の第13回と2回開催しました。

今年は11月7~8日の日程で開催し、参加者は13名の予定が、長野県の青木夫妻が新幹線の遅延で「羽田～宮古島直行便」に間に合わず11名の出席でした。

前回は若くて夫婦参加も多かったのですが、80代となり、長距離や飛行機移動は無理？、介護の問題、足腰、内臓が悪くて手術した等「病気自慢の同期会」でした？

宮古島は現在3つの橋で離島がつながり、「無料で渡れる日本最長の3,540mのいらぶ大橋」が10年前に開通し、「七色の宮古ブルー」を満喫できました。観光客も増加し、ホテル・アパート・住宅建設のラッシュで、宮古島の景色もだいぶ変わりました。

前回茨城の学園訪問（令和6年11月）で最後の予定が「次もまた会いたいネ」との事で宮古島での開催となりましたが、また「次回も会いたいネ」の声があり、福岡の石橋さんが預かりました。

末長く「**病気と仲良くご馳走食べて、今日も明るく楽しく**」夫婦仲良くお過ごし下さいネ。



鯉淵学園20期生会／2025年11／7～8／宮古第一ホテル



無料で渡れる日本最長3、540mのいらぶ大橋をバックに

写真、文責：宮平エミ